大阪ガスのお問い合わせ先

支社	住所	電話	〒
大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06(586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒堀680-1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして（火気に注意して）もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

5100695000

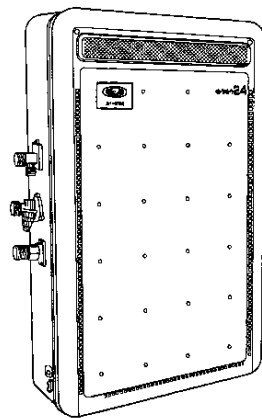
PG-10

ガス風呂給湯器

〈自然循環タイプ〉

ゆうゆう24

31-096型

型式名　OSR-2400A

取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器〈自然循環タイプ〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

特徴・機能のご紹介

●給湯もおふろ沸かしもこれ1台でOKです。

給湯器とふろ釜を一体にした1台で2役の給湯付風呂釜です。

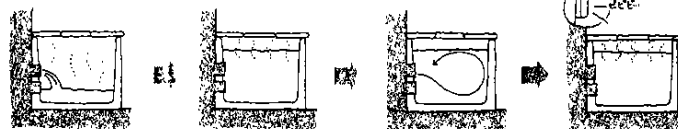
●スイッチひとつでおふろが沸かせます。

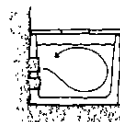
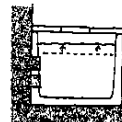
おふろ沸かしがとても簡単です。自動スイッチを押せば設定した水位、湯温で沸きあがります。

ふたをしたまま
お湯張り開始

適量でお湯張り
ストップ

自動的に追いだき

電子音が鳴ったら
入浴OK
ピピピ…

●4時間、湯温と湯量を監視します。

自動スイッチを押しておけば、沸きあがってから4時間のあいだ、お湯がぬるくなると自動的に追いだき、保温します。またお湯が減ると自動でたし湯します。
（17ページ参照）
たとえばお子様とご主人の入浴時刻があいても湯かげんを気にせず、すぐに入浴できます。

お湯が減ると…
自動的にたし湯

●上下の温度差がありません。

浴そうのお湯はポンプによって循環しているので、お湯をかきまわす必要はありません。

●最初はぬるめ、入っているうちに自動的に適温に沸かし上げます。

殿様スイッチでおふろに入る時は、お好みの温度よりやや低めで、おふろに入ると自動的にお好みの温度まで沸かし上げてくれます。(19ページ参照)
たとえば、冬場にからだが冷えていて熱いお湯に入りにくいときなどに便利です。

●タイマーで自動運転予約ができます。

お好きな時刻におふろが沸かせる予約運転ができます。(20ページ参照)

●シャワーと追いだきが同時に使用できます。

お湯やシャワーを使いながら、追いだきができます。

●風呂釜の洗浄が自動でできます。

入浴後に浴そうの排水せんを抜くと。循環口より自動的にお湯が出て風呂釜の洗浄を行います。(24ページ参照)

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
機器本体の左側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

●ガスの種類には都市ガス13AとLPガスがあります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と機器移動のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この機器はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

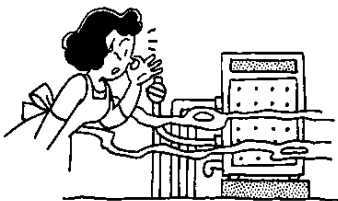
●用途についてのご注意

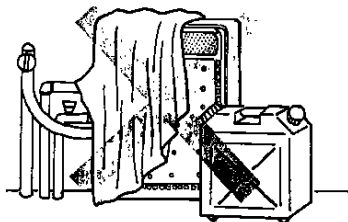
●給湯・シャワー及び風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。
●本体はソーラ対応ができません。

●機器設置についてのご注意

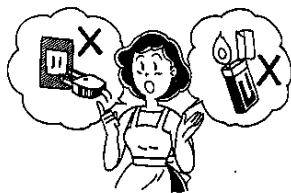
●機器の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

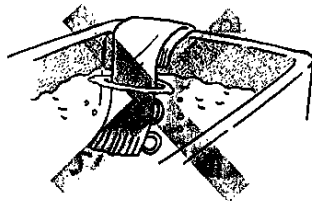
●ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

●火災予防

- 機器の上やそばに燃えやすいもの(紙、洗たく物、揮発油などで)を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

●ガス事故防止

- ガス漏れに気づいた時は、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

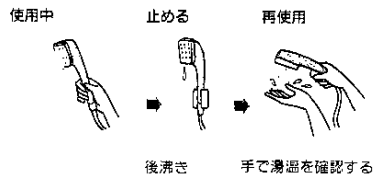
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

●過熱防止

- ふろがまと浴そうを接続している上下連絡水管をタオルなどでふさがないでください。

●やけどにご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、機器本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。

- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは機器の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。

使用中　止める　再使用

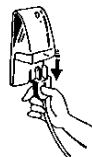
後沸き　手で湯温を確認する

●凍結について

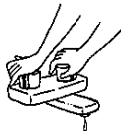
- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため機器および配管内の水が凍って、機器や配管を破損することがあります。
- 詳しくは25~26ページをお読みください、

●凍結したとき

①機器や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器及び配管から水漏れがないことを確認後、13~24ページの「使用方法」にしたがって操作を行なってください。

●落雷のおそれがある時

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。)
- 雷が遠ざかったことを確めてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

●停電時の処置

●停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止しますので、給湯栓を閉じてください。

●13～24ページの「使用方法」にしたがって操作してください。
また、設定温度は約42℃になりますので、再度お好みの温度に調節しなおしてください。

●異常時の処置について

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて電源プラグを抜くかまたは電源ブレーカを切り、ガス元せん・給水元栓を閉め十分な点検をしてください。詳しくは29～30ページ「故障かな？と思ったら」の項をごらんください。

●断水時の処置

●断水時は給湯栓を閉め、電源プラグを抜くか、または、電源ブレーカのスイッチを切っておいてください。
●再通水したときは、13～24ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

●健浴剤や洗剤についてのご注意

●硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

●リモコン使用の際のご注意

●リモコンは子どもがいたずらしないようにご注意ください。
●リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
●リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●日常の点検・手入れ

●日常の点検、手入れをしてください(詳しくは27～28ページをごらんください。)
●故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
このときはご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

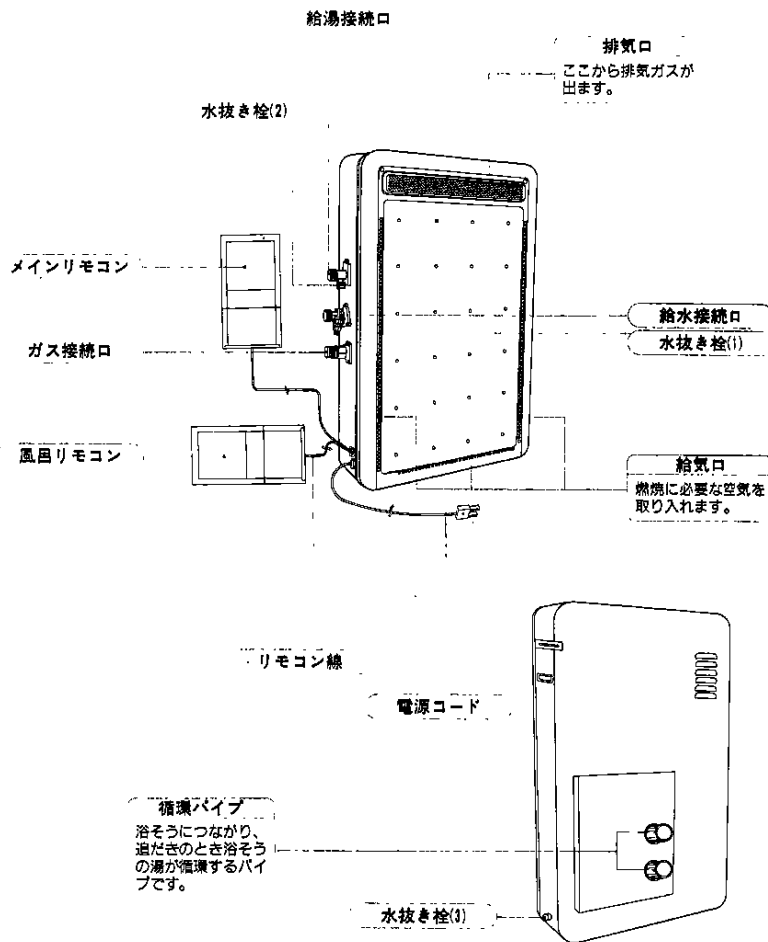
●長時間使用しない場合

●必ずガス元栓を閉め、コンセントから電源プラグを抜くか、または電源ブレーカを切って、26ページの「機器の水を抜く方法」を参照のうえ、水抜きを行ってください。

●たまった水は飲まないで

●機器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

各部のなまえと扱いかた

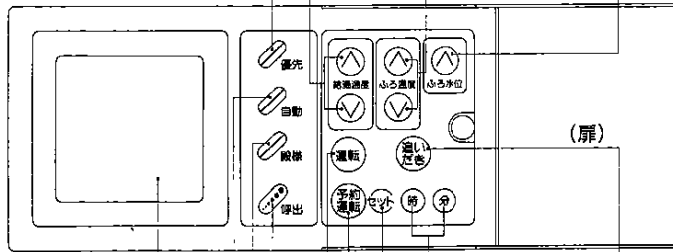
機器本体 31-096型

風呂リモコン

給湯温度スイッチ
給湯温度を設定します。(P.13)

ふろ水位スイッチ
浴そうの水位を設定します。(P.16)

優先スイッチ
メインリモコンとの給湯温度設定切替スイッチです。(P.13)

ふろ温度スイッチ
おふろの沸き上がり温度を設定します。(P.16)

(扉)

追いだきスイッチ
追いだきをするときに押します。(P.22)

表示画面
設定温度、ふろ温度、時刻、ふろ水位などをデジタル表示します。(P.10)

時刻設定スイッチ
現時刻および予約運転時刻を合わせます。(P.14)

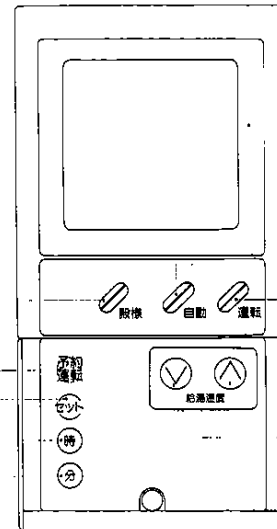
自動スイッチ
自動運転でふろを沸かすときに押します。(P.15)

セットスイッチ
現時刻および予約運転時刻をセットするときに押します。(P.12, P.20)

殿様スイッチ
最初はぬるめで入り、入浴中に設定温度まで湯温を沸き上げたい場合に押します。(P.19)

予約運転スイッチ
予約運転でおふろを沸かすときに押します。(P.20)

呼出スイッチ
用事などで人を呼ぶときに押します。(P.23)

運転スイッチ
電源の「入」「切」をするときに押します。通常は「入」の状態にしておきます。(P.10)

メインリモコン

表示画面

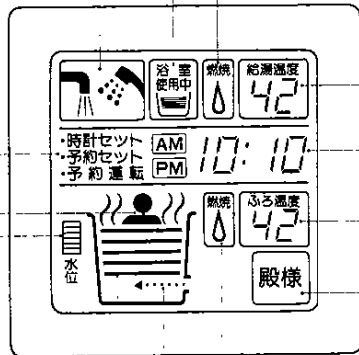
浴室使用中表示
この表示が出ているときはメインリモコンでの湯温設定はできません。(P.13)

給湯・シャワー表示
運転スイッチを入れると点灯します。(P.12)

燃焼表示
給湯バーナーに点火すると点灯します。(P.14)

モード表示
時計セット、予約セット、予約運転を表示します。(P.12、20)

保温・沸き上り表示 釜洗浄表示
自動保温中の表示です。(P.17) また釜洗浄時は点滅します。(P.24)

設定水位表示
浴そうの設定水位が表示されます。(P.16)

給湯温度表示
運転スイッチを入れると給湯温度が表示されます。(P.12)

時刻表示
現時刻および予約時刻を表示します。(P.12、20)

ふろ温度表示
おふろの沸き上がり温度を表示します。(P.16)

殿様表示
殿様スイッチを押すと表示されます。(P.19)

燃焼表示
ふろバーナーに点火すると点灯します。(P.17)

お湯はり表示
浴そうの循環口から注湯されているときの表示です。(P.7)

浴そう水位表示
浴そう内の水位を表示します。(追いだき運転中は一番上の線のみ表示されます。)(P.16)

初めてお使いいただくときに…

●操作前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

機器付近

2 ガス元栓を全開にする

機器付近

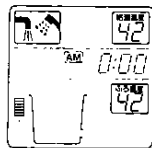
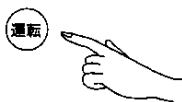
3 給湯栓をあけ、水の出ることを確認してからしめます。

お湯の使用場所

4 電源プラグをコンセントに差し込む

機器付近

5「運転」スイッチを押します。

※表示画面は右のようになります。

6現在時刻を合わせます。

風呂リモコンまたはメインリモコンで時刻合わせができます。

たとえば、午後2時35分に合わせるには…

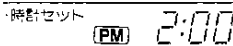
①「セット」スイッチを押します。

＊「時計セット」のモードが表示され、

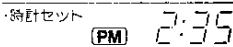
が点滅します。

②時刻設定スイッチの「時」スイッチを

になるまで押します。

時計セット PM 2:00

③時刻設定スイッチの「分」スイッチを

になるまで押します。

時計セット PM 2:35

④表示時刻を確認してもう一度「セット」スイッチを押します。

＊「時計セット」のモード表示が消え、時刻表示の点滅が止まります。現在時刻のセット完了です。

PM 2:35

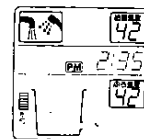
-ご注意

●「セット」スイッチを押して約5秒の間に次のスイッチを押さないとセットが途中であっても点滅が点灯に変わりセッが完了したことになります。

●セットしなおしたいときや、誤ってセットしたときは①からやりなおしてください。

使用方法

1「運転」スイッチが「入」状態になっているか確認します。

※表示画面は右のようになっています。
なっていないときは「運転」スイッチを押します。

(現在時刻がPM2：35の場合)

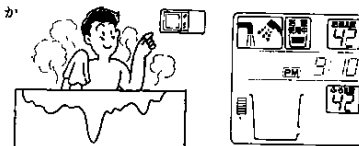
2「給湯温度」スイッチを押して温度調節します。

●はじめてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の給湯温度は42℃の設定になります。

●給湯温度がお好みに合わないときは温度調節します。

●温度調節は、風呂リモコン、メインリモコンどちらでも操作できます。

風呂リモコンで温度調節するときは

●風呂リモコンの表示画面に［浴室使用中］が表示されているか確認します。

［浴室使用中］が表示されていないときは「優先」スイッチを押します。

＊表示画面に［浴室使用中］が点灯します。

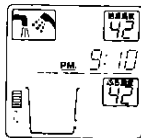
●Ⓐを押すと給湯温度が高くなり、Ⓥを押すと低くなります。
給湯温度は36℃、38℃～46℃(38℃～46℃については1℃間隔です)、48℃、60℃に設定できます。

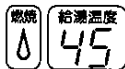
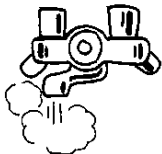
(給湯温度を見ながら)

2

メインリモコンで温度調節するときは

●メインリモコンの画面に[浴室使用中]が表示されていないことを確認します。

[浴室使用中]が表示されていないときは風呂リモコンの「優先」スイッチを押します。
＊[浴室使用中]が消えます。
●風呂リモコンと同じ操作をします。

3 給湯栓をあけます。

※「給湯燃焼表示」が画面に表示され、お湯が出ます。

ご注意
●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
●お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。
●給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので湯温設定の目安としてください。

4 給湯栓をしめます。

※「給湯燃焼表示」が消えます。
「運転」スイッチは通常「入」の状態にしておきます。次回使うとき給湯温度がそのままでよい場合は給湯栓の開け閉めだけでお湯が使え、便利です。

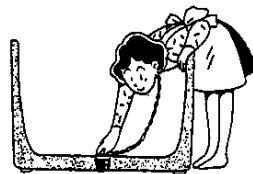
●おふろを沸かすときは自動運転で行います。

●自動運転とは…

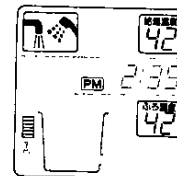
運転前の準備をしたら、「自動」スイッチを押すだけ。あとは次の動作を機器が自動で行います。

●風呂リモコンで操作します。ただしふろ水位、ふろ温度を変更しないときはメインリモコンの「自動」スイッチを押せば沸かすことができます。

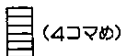
●運転前の準備

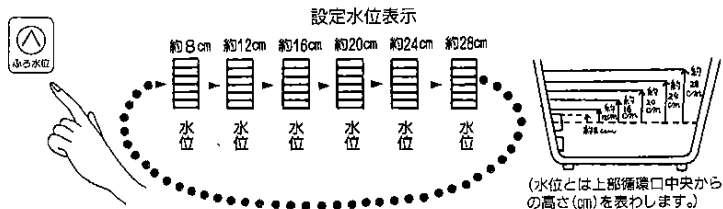
①おふろの排水栓をしめます。

②ふたをしめます。

1「運転」スイッチが「入」の状態になっているか確認します。

※表示画面は右のようになっています。
なっていないときは「運転」スイッチをします。

（現在時刻が2：35の場合）

2「ふろ水位」スイッチを押して、水位を設定します。

- はじめてお使いのときや、電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、または停電後のふろ水位は下のようになります。（4コマめ）
- 浴そうの大きさを確認するため、最初に上記の設定で自動運転してみることをおすすめします。
- 設定水位がお好みに合わないときは水位を設定しなおします。

●「ふろ水位」スイッチを押すと設定水位表示が1コマづつ下図のように変わります。

(水位とは上部循環口中央からの高さ(cm)を表わします。)

ご注意

- 水位(cm)はおよその目安です。実際の水位と異なる場合があります。

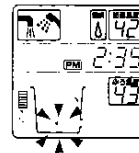
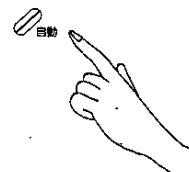
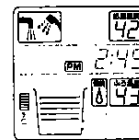
3「ふろ温度」スイッチを押して、沸きあがりの温度を設定します。

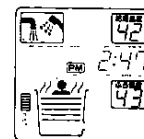
- はじめてお使いのときや、電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、または停電後のふろ温度は42℃の設定になります。
- ふろ温度がお好みに合わないときは設定しなおします。

(ふろ温度を見ながら)

Ⓐを押すと温度が高くなり、Ⓥを押すと低くなります。
ふろ温度は36℃～48℃(38℃～48℃については1℃間隔です)に設定できます。

4「自動」スイッチを押します。

※表示画面に「お湯はり表示」が出て、しばらくして循環口からお湯がでてきます。このとき「給湯燃焼表示」が表示画面にでます。

※設定した水位までお湯はり後、表示画面の「給湯燃焼表示」が消えます。かわって「ふろ燃焼表示」が表示され、設定したふろ温度まで沸かしあげます。

(時間表示は運転にかかる時間ではありません。)

※沸きあがると、風呂リモコン、メインリモコンが「ピピピ…」と鳴り入浴できることをお知らせします。「ふろ燃焼表示」が消えます。

(時間表示は運転にかかる時間ではありません。)

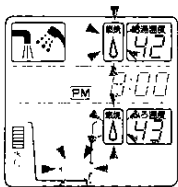
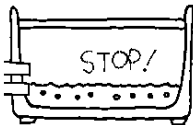
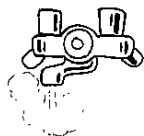
※沸きあがり後は約30分ごとに湯温を検知し、4時間のあいだにお湯がさめていれば自動で設定した温度まで沸かします。お湯が減っていれば自動で設定した水位までたし湯します。

おふろの沸かし方

5 自動運転を途中でやめたいとき、保温、たし湯をやめたいときは

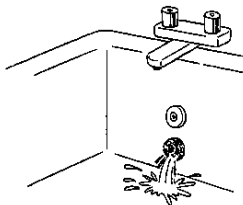
※「自動」スイッチを押します。

ご注意

●自動運転中は 給湯およびふろの燃焼表示、浴そう水位表示がついたり消えたりしますが、故障ではありません。

●自動運転中に台所などの給湯栓をあけると、浴そうへのお湯の出が悪くなったり、止まったりすることがあります。

●ふろ温度表示の数字は実際の沸きあがり温度と多少異なる場合があります。目安としてください。

●浴そうの排水栓をしめ忘れて自動運転をすると、一定量自動注湯後にリモコンがエラー表示となり電子音が約20秒鳴ります。そのときは、浴そうの排水栓をしめ、運転スイッチを一度切り、もう一度入れてください。

●「運転スイッチ」が「入」の状態で浴そうの排水栓をぬき、上部循環口より水位が下がると自動的に循環口より熱いお湯が出て風呂釜の洗浄を行います。(P.24をご覧ください。)

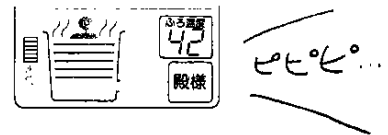
こんなときは

●殿様運転

最初入浴するときはややぬるめで、入浴中に設定温度まで沸き上がるようにしたい。

①自動運転の1～4の操作をします。
(P.15「おふろの自動運転」)

②「自動」スイッチを押します。
＊「お湯はり表示」が点灯し、自動運転がスタートします。

③「殿様」スイッチを押します。
＊「殿様表示」が点灯します。

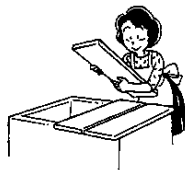
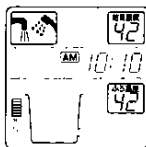
④「ピピピ……」という電子音が鳴ったら入浴できます。
(このときのふろ温度は設定したふろ温度の約－2℃です。)

⑤入浴すると、センサーが感知して自動的に設定したふろ温度まで沸きあげます。

ご注意

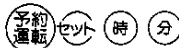
●「殿様」スイッチは自動運転のときのみ作動します。
●保温中に上記の操作をすると湯量が若干増えます。
●入浴中に「殿様」スイッチを押すと、湯量が若干増えます。
●浴そうが満水に近いときは殿様運転ができないときがあります。

●予約運転をしたいとき

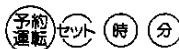
1 予約運転前の準備

●「運転」スイッチが「入」の状態になっているか確認します。
＊表示画面は右のようになっています。なっていないときは「運転」スイッチを押します。
●おふろの排水栓とふたをしていることを確認します。
●ふろ水位とふろ温度がお好みになっているか表示画面を確認します。
＊なっていないときはP.16「おふろの沸かし方」2～3の操作をします。

2 たとえば、今晩8時30分に入浴したい場合は……

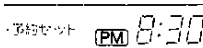
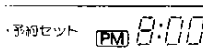
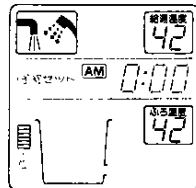
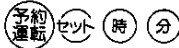
①現在時刻を確認します。
＊正しくセットされていない場合はP.12の回をご覧ください。
②「セット」スイッチを2回つづけて押します。
＊「予約セット」のモード表示が表示され

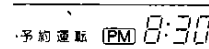
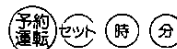
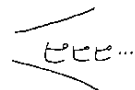
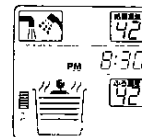
が点滅します。

③時刻設定スイッチの「時」スイッチを

PM 8:00 になるまで押します。

・予約セット PM 8:00

④時刻設定スイッチの「分」スイッチを

PM 8:30 になるまで押します。

・予約セット PM 8:30

⑤表示時刻を確認して「予約運転」スイッチを押します。
＊「予約セット」のモードが消え「予約運転」のモードが点灯します。

・予約運転 PM 8:30

⑥8時30分までに自動的におふろを沸かしあげます。
＊8時30分になると「ピピピ……」という電子音が鳴り、入浴できることをお知らせします。

＊沸きあがり後は約30分ごとに湯温を検知し、4時間のあいだお湯がさめていれば自動で設定した温度まで沸かします。お湯が減っていれば自動で設定した水位までたし湯します。
＊途中でやめたいときは「自動」スイッチを押します。

ご注意

●「セット」スイッチを押して約5秒の間に次のスイッチを押さないと、セットが途中であっても点滅が点灯に変わりセットが完了したことになります。
●セットしなおしたいときや誤ってセットしたときは①からやりなおしてください。
●予約運転セット後は現在時刻の表示になります。予約セットの時間を見たいときは「予約運転」スイッチを2回つづけて押してください。
●毎日同じ時刻に入浴する場合は、セットしなおす必要はありません。
●予約運転は24時間以内です。ただし、沸きあがり時刻のセットは現在時刻より1時間以後の時刻でセットしてください。
●長時間の停電があった場合は、現在時刻と予約運転をセットしなおしてください。

●湯量は増やさずに、おふろを熱くしたいとき

①お望みの湯温を設定します。
（P.16「ふろ温度調節」をご覧ください。）
②「追いだき」スイッチを押します
*「ふろ燃焼表示」が点灯します。

③設定温度になると「ピピピ…」という電子音が鳴り、入浴できます。

ご注意

- 浴そうの水位が上部循環口より5㎝以上あることを確認してください。水位が低い状態で追いだき運転を行うと、リモコンがエラー表示になり電子音が約20秒鳴ります。そのときは、浴そうにお湯をたして「運転スイッチ」を一度切り、もう一度入れてから操作してください。
- 「追いだきスイッチ」を押すとマイコンが湯温を計り、約30秒後に燃焼を開始します。
- 下部循環口についている循環キャップのフィルターは、定期的(月2〜4回)にそうじを行ってください。そうじ方法はP.27「循環口のお手入れ」をご覧ください。

●浴そうのお湯が少なくなってしまったとき

①「自動」スイッチを押します。
②設定した水位、沸きあがり温度になると「ピピピ…」という電子音が鳴って、お知らせします。

●残り湯を沸かし直したいとき

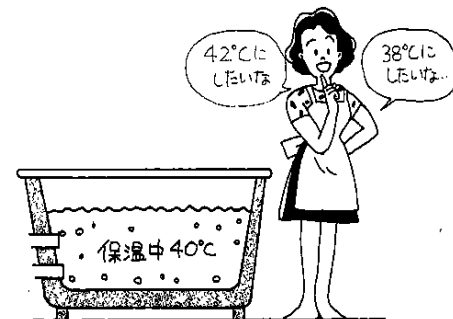
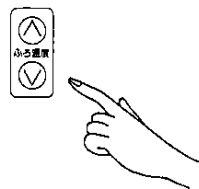
①「自動」スイッチを押します。
②設定した水位、沸きあがり温度に沸かしあげます。
*「ピピピ……」という電子音が鳴ったら、入浴できます。

●用事などで人を呼びたいとき

①風呂リモコンの「呼出」スイッチを押します。
*メインリモコンと風呂リモコンから「ピピピ……」という電子音が鳴ります。

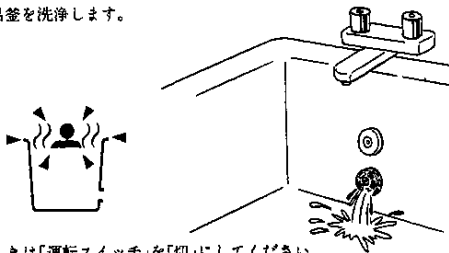
②もう一度「呼出」スイッチを押すと、電子音が消えます。

●保温中に浴そうの湯温を変えたいとき

「ふろ温度」スイッチでお好みのふろ温度に設定してください。
*ふろ温度を上げると、設定温度まで自動的に沸き上げます。
*ふろ温度を下げると、設定温度まで自動的に注水します。

●風呂釜洗浄の操作のしかた

風呂釜洗浄とは、風呂釜に湯アカが溜まり循環不良となったり、湯アカの吹き出しを防ぐためのものです。

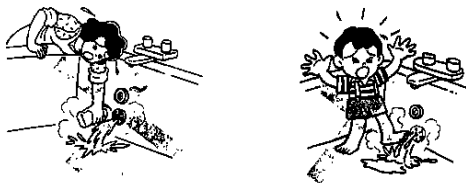
●「運転スイッチ」が「入」の状態で、浴そうの残り湯を排水していくと、センサーが感知して自動的に循環口よりお湯が約1分間、水が約30秒間出て風呂釜を洗浄します。

＊風呂釜洗浄時は、表示画面の保温・沸き上がり表示が点滅します。(点滅開始からお湯が出てくるまで、約1分半の待ち時間があります。)

●風呂釜洗浄を途中でやめたいときや不要なときは「運転スイッチ」を「切」にしてください。
●風呂釜洗浄運転中に給湯操作をすると、風呂釜洗浄は終了します。

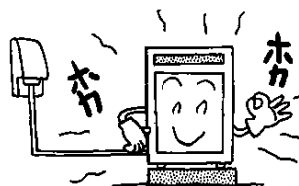
ご注意

●残り湯が上部循環口にない状態で排水すると、風呂釜洗浄は行われません。

●風呂釜洗浄は、「運転スイッチ」を切らない状態で排水したときのみ作動します。

●風呂釜洗浄運転時は、循環口から約60℃の熱いお湯が出ますので、ヤケドにご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結したまま使用されますと、機器に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。

●凍結予防装置(ヒータ)による方法

●この機器には、外気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防装置(ヒータ)を組み込んでいます。
●凍結予防装置(ヒータ)は電源プラグを抜くと作動しません。緊急の時以外は、電源プラグを抜かないでください。
●凍結予防装置(ヒータ)は、メインリモコン又は風呂リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。
＊外気温が極端に低く(庭のたまり水などが凍るおそれのある日)なりますと、凍結予防装置(ヒータ)だけでは効果がありません。このような場合は、「水を流す方法」または「機器の水を抜く方法」を行なってください。また外気温が低くなるおそれのあるときは、浴そうのお湯を最後の人が入浴した後、必ず排水してください。

●水を流す方法(一般的な方法)

●ガス元栓を閉め、メインリモコン又は、風呂リモコンの運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯栓を開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本分ぐらい)の水を浴そうに流し込んで下さい。
●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。

ご注意

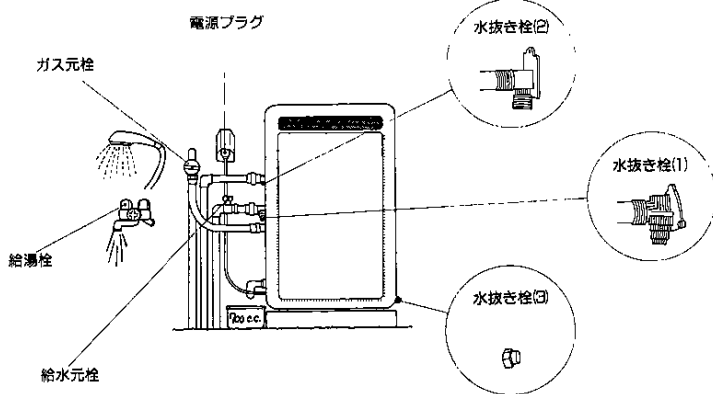
●凍結予防装置(ヒータ)は電源プラグを抜くと作動しません。機器の水を抜いて凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。

●機器の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

給湯側

● この方法は、給水配管の凍結予防は出来ませんが、機器の破損を予防するには最もよい方法です。次の①~⑦の手順により機器内の水を抜いてください。
次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。

①「運転スイッチ」を押して「切」にします。
②ガス元栓をしっかり閉めます。
③給水元栓をしっかり閉めます。
④電源プラグをコンセントから抜きます。
⑤すべての給湯栓を全開にします。
⑥水抜き栓(2)をゆるめてはずします。
⑦水抜き栓(1)をゆるめます。

※排水量は約700ccですので、これに見合った容器を用意してください。

風呂側

①浴そうの水を排水します。
※風呂側の水抜きを行なった後は浴そうに水を落し込まないでください。
②水抜き栓(3)をゆるめます。

●再度、ご使用のときの手順
①水抜き栓(1)(2)(3)を元通りに閉めます。
②すべての給湯栓を閉じてください。
③11ページの「操作前の準備と確認」に従ってください。

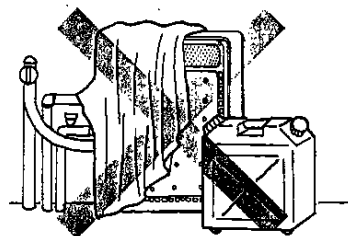
※現場施工の状況により、「凍結予防ヒータによる方法」や「機器内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

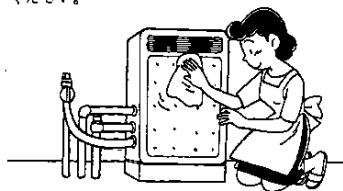
点検・お手入れ

●点検・お手入れ際のご注意

●点検・お手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、電源を切って機器が冷えてから行ってください。
機器の前板などははずさないでください。
(機器やリモコンは絶対に分解しないでください。)

●点検

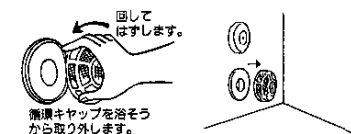
●機器の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか?
●排気口や給気口をふさいでいませんか?

●お手入れ

機器本体・リモコンの表面が汚れたときは、やわらかい布に台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取って下さい。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

●循環口のお手入れ

●フィルターは定期的(月2~4回)に掃除してください。めづまりするとお湯の出が悪くなります。
●掃除したあとは元通りに取り付けてください。
●フィルターは必ず下部循環口に取り付けてください。

循環キャップを浴そうから取り外します。

ブラシなどで掃除をする。

元通りにはめる。

●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、11ページの「操作前の準備と確認」に従ってください。出湯操作をされて、万一異常な燃焼、異常な音、異臭を感じられたときは、あわてず給湯栓、ガス元栓を閉じ、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、安全により長くご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。

●本製品は一般家庭用の製品です。
業務用にご使用の場合は機器を正常にお使いいただくために、定期点検(年2回程度)をお受けください。(有償)
詳しくは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき(現象) ＼ お調べいただくこと(原因)	ガス元栓の開き不十分	(LPガスの場合)ガスが残り少ない、または無い	ガス配管内に空気が残っている	給水元栓の開き不十分	断水ではありませんか	給湯栓の絞り不十分	給湯栓の開き不十分	凍結している	(ブレーカーが入っていない)電源プラグが抜けている	運転スイッチを押しましたか	停電している	リモコンの設定温度表示が低くなっていませんか	リモコンの設定温度表示が高くなっていませんか
点火しない(給湯栓を開けてもお湯がでない)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
使用中に消火する	○	○		○			○						
異常な音をたてて燃える													
高温の湯が出ない	○	○				○						○	
低温の湯が出ない				○									○
湯量の調整ができない				○									
運転スイッチを押しても設定温度表示ランプが点灯しない									○				
処置方法	ガス元栓を全開にする	(ボンベを新しく替える)販売店に連絡する	点火操作を繰り返す	給水元栓を全開にする	断水が終わるまで待つ	給湯栓を絞る	給湯栓を開く	解凍まで使用を中止	電源プラグをコンセントに差し込む(ブレーカーを入れる)	運転スイッチを押す	通電するまで待つ	リモコンの設定温度を高くする	リモコンの設定温度を低くする
参照ページ	11	—	—	11	—	11	11	28	11	12	4	13	13

●処置方法や原因のわからないときはお買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。

●こんな場合は異常ではありません。

状　　況	点　検　事　項
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでに、少し時間がかかります。
給湯栓を閉めても、しばらく音がしている。	再使用時の点火をより早くするため、運転停止後約5分間は燃焼ファンを回転させています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	温度差による水蒸気が発生するためで異常ではありません。
高温出湯すると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。

●エラー表示

●リモコンにはエラー表示機能(故障診断機能)があります。
●リモコンの設定温度表示部にエラー表示と番号 59 が1秒ごとに交互に表示されます。
(A0～AF・C2は給湯温度表示部、E0～EF、F1～F7 はふろ温度表示部に表示されます。)
●修理を依頼されるときは表示番号をお知らせください。

表示	故障箇所	対処
A0	運転モード切替スイッチ位置の不具合	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れてから操作してください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
A1	給水温度センサー系統の不具合	
A3	給湯温度センサー系統の不具合	
A4	給湯炎検出系統の不具合	
A5	ファン回転系統の不具合	
A6	給湯炎(燃焼)検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓を開き、リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて給湯栓を開けてください。エラー表示が出なければ大丈夫です。
A7	沸とう防止装置の作動または不具合	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れた後、操作してください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
A8	給湯の過熱防止装置の作動または不具合	
AA	給湯炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もしそうでない場合は修理依頼してください。
AF	給湯連続過熱リミッターの作動	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れた後操作してください。それでもエラー表示が消えず、使用中にお湯も出ない場合は、修理依頼してください。
C2	水量制御装置の不具合	エラー表示が出ても、しばらくしてエラー表示が消えればそのまま使用できます。表示が消えず、使用中にお湯も出ない場合は、修理依頼してください。
E0	運転モード切替スイッチ位置の不具合	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れた後、操作してください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
E1	ふろ温度センサー系統の不具合	
E4	ふろ炎検出系統の不具合	
E6	ふろ炎(燃焼)検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓を開き、リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて追いだきスイッチを入れ運転してください。エラー表示が出なければ大丈夫です。
E7	循環ポンプ系統の不具合	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れた後、操作してください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
E8	ふろの過熱防止装置の作動または不具合	
EA	ふろ炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もし、そうでない場合は修理依頼してください。
EF	ふろ連続過熱リミッターの作動	リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れた後、自動スイッチを押してください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
F1	浴そう圧力検出装置の不具合	
F2	注湯電磁弁系統の不具合	
F4	給湯確認スイッチ系統の不具合	
F5	浴そう水位不足	浴そうの水位が不足しています。お湯(水)をたしてください。それからリモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて追いだきスイッチを押してください。
F7	浴そうの排水せんの閉め忘れ	浴そうの排水せんの閉め忘れではありませんか。排水せんを排水口に差し込んでください。それからリモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れ、自動スイッチを押してください。エラー表示がでなければ大丈夫です。

—エラー表示部
(A0～C2)

—エラー表示部
(E0～EF、F1～F7)

A6 ↔ 59

1秒ごとに
交互に表示

エラー表示番号　　番号

寸法図

仕様

●仕様表

項目		内容	
品名		ガス風呂給湯器	
商品名		31-096	
型式名		OSR-2400A	
外形寸法		幅540×奥行155×高さ875(mm)	
外装材質		フロントカバー：鋼板塗装仕上げ ケーシング：鋼板塗装仕上げ	
製品重量		36kg	
接続口	ガス	20A(R3/4)	
	給水	20A(R3/4)	
	給湯	20A(R3/4)	
	循環パイプ	φ45×2	
ガス消費量(kcal/h)	給湯	最大45,000～最小4,800	
	ふろ	11,000	
	同時	56,000	
能力		(24)～2.5号	
制御方式		フィードフォワード・フィードバック制御	
最低作動水圧		0.2kg/cm²	
最低作動水量		3.0ℓ/min	
電気関係	電源	AC100V (50Hz/60Hz)	
	消費電力	140W/150W(50Hz/60Hz)	
	点火方式	連続放電点火方式（ダイレクト点火方式）	
制御装置	ガス	ガス比例制御方式	
	水	水量比例制御方式	
		給湯	ふろ
安全装置	立消え安全装置	フレームロッド	フレームロッド
	流水感知装置	水量センサー	―
	ファン回転検出装置	ホールIC	
	空だき安全装置	温度ヒューズ	―
	空だき防止装置	―	水位センサー
	過熱防止装置	温度ヒューズ	温度ヒューズ
	過圧防止安全装置	ブローバルブ	―
	沸とう防止装置	サーミスタ	サーミスタ
	凍結予防装置	サーモ付電気ヒーター	サーモ付電気ヒーター
	排水装置	手動式水抜きせん	手動式水抜きせん
	漏電安全装置	高感度高速漏電ブレーカー	
	誘導雷保護装置	半導体	
同梱付属部品		機器取付部品一式、取扱説明書、メインリモコン、風呂リモコン	

仕様

アフターサービス

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」(P.29～30)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1.品　名…………………ガス風呂給湯器〈自然循環タイプ〉
2.大阪ガス商品コード…機器の左側面に貼付してあります。

（例）

(N) 31-096	
大阪ガス株式会社	05

3.現象……できるだけ詳しく
＊この機器には、不具合が生じた時、リモコンにエラーを表示する機能(故障診断機能)がついています。お手数ですが異常報知したとき、リモコンの温度表示部にエラー表示と番号が表示されますので、お知らせください。(早期修理対応するうえでたいへん役立ちます)
4.道順……できるだけ詳しく

転居されるとき

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ださい。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は…

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

アフターサービス